

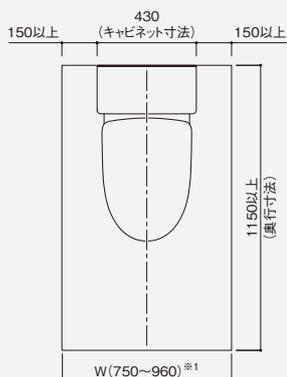
取付前のご注意

- ・施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- ・便器を防火区画貫通部より1m以内に設置の場合は、事前に所轄消防署にご確認のうえ、その指示に従ってください。
- ・キャビネットの表面に指定のクッション材・ラベル以外ははらないでください。

1 商品取付範囲について

1-1 設置可能寸法

- ・トイレの広さは以下の寸法を確保してください。範囲外の間口には対応できません。
- ・レストルームドレッサーを設置する場合、商品タイプによって設置できるトイレの必要寸法が異なります。詳細は32~34・40・44ページをご参照ください。



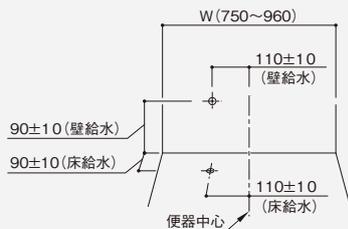
※1 戸建は補強条件(30・31ページ)を満たしている場合にかぎり、最大間口1240mmまで対応可能です。

2 取付施工条件について

2-1 給水位置

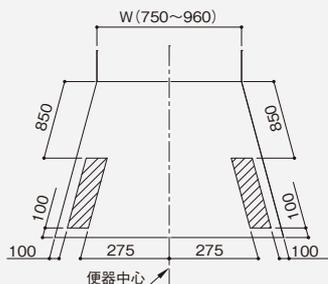
- ・給水管は壁・床仕上げ面と同一面で立ち上げてください。
- ・図の位置に給水管(Rc1/2)の中心があることをご確認ください。
- ・幅木と干渉する場合、幅木をカットしてください。

給水位置



2-2 水抜栓位置(水抜方式の場合)

- ・水抜栓の高さが450mmを超える場合は、紙巻器に干渉するおそれがあるので、事前に紙巻器の設置位置をご確認ください。
- ・棚付二連紙巻器を設置する場合は、棚板などと干渉しないよう事前にご確認ください。

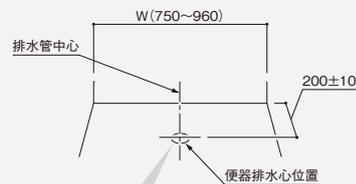


※壁補強後の仕上げ面を基準にした寸法を示しています。

2-3 排水位置

(1) 床排水

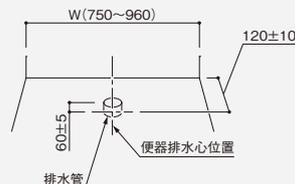
- 排水心200mmの場合
- ・排水管(VP・VU75)は床仕上げ面と同一面で立ち上げてください。
- ・VP・VU100には接続できません。



- ・配管周囲10mmより外側の床を傷つけないでください。配管外の床面に傷が露出するおそれがあります。
- ・排水心が前後にずれた場合、立ち上げなおしてください。大便器の詰まり・器具と配管干渉のおそれがあります。

※壁補強後の仕上げ面を基準にした寸法を示しています。

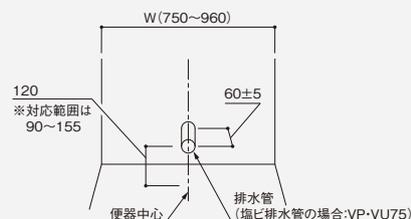
- 排水心120mmの場合
- ・排水管(VP・VU75)は床仕上げ面から60±5mmで立ち上げてください。
- ・VP・VU100には接続できません。



※壁補強後の仕上げ面を基準にした寸法を示しています。

(2) 壁排水

- ・VP・VU100には接続できません。
- ・排水勾配は必ず1/50以上確保してください。
- ・便器と排水管はジャバラ管(材質:軟質塩ビ)での接続となります。



※壁補強後の仕上げ面を基準にした寸法を示しています。

2-4 補強材位置

- ・横壁の壁材は石膏ボード(9.5mm)相当以上をご使用ください。
- ・横壁に扉が付く場合でも、後壁から400mmは壁を取り付けてください。

(1) 戸建(木軸構造)の場合

- ・木材や建築部材が腐食などで強度不足でないことをご確認ください。
- ・間柱および受木が所定の位置にあることをご確認ください。
- ・後壁と横壁が、受木や隅柱などを介し連結されていることをご確認ください。
- ・建築材に必要なサイズは以下寸法です。
 - 〈後壁〉隅柱、間柱、受木:幅38mm×奥行き89mm以上
 - 〈横壁〉間柱、受木:幅36mm×奥行き45mm以上
 - 〈床材〉根太:幅36mm×高さ45mm以上
- ・建築材のピッチは以下寸法で配置してください。

